FGI

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

2026年9月期
決算説明資料

2026年11月

フィンテック　グローバル株式会社

（東証スタンダード市場：8789）

https://www.fgi.co.jp/

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、
フィンテック グローバル株式会社の登録商標です。

目次

総括 P. 2

2026年9月期　通期業績 事業概要

- 連結業績ハイライト P. 4
- セグメント別業績 P. 7
- 投資銀行 P. 9
- 投資銀行 – 航空機部門 P.17
- パブリックサポートサービス P.18
- 連結財務諸表 P.19

2027年9月期　業績見通し

- 連結業績予想 P.23
- 2027年9月期の重点施策 P.24

株主還元 P.25

Appendix P.27

©2026 FinTech Global Incorporated

総括

6期連続の増収増益となった一方、損失を計上する事象も発生
次期は、成長を支える基盤を固める期間と位置づけ、管理体制とガバナンスを強化

2026年9月期

投資銀行事業が牽引し、6期連続の増収増益
営業利益は44億円（前期比＋28%）　期末配当は2円増配の5円

- 事業承継問題を有する企業へのPE投資、航空機リース、トラックオペレーティングリースが伸長。
- エンタメセグメント各社の連結除外により、有形固定資産44億円、有利子負債56億円をオフバランス。自己資本比率は前期末比11.9pt改善し、52.2%。
- 配当総額は9.4億円、配当性向は21.5%。自己株取得（総額6.8億円）を含む総還元性向は36.4%。

2027年9月期

エンタメ連結除外で減収も、営業利益・経常利益は前期並みを確保
最終利益は25億円(前期比△44%)、配当は5円を維持し株主還元を継続

- 主力の事業承継案件へのPE投資は、高水準の収益を維持。
- 航空機リースは、新規リース案件の組成と機体売却により収益増加を見込む。一方、トラックオペレーティングリースは、管理体制の強化や一部案件組成の見送りにより、収益減少を見込む。
- エンタメセグメント各社の連結除外により売上が減少。前期の連結除外に伴う特別損益も発生しない。
- 急成長した事業・組織の基盤を固めるため、管理体制とガバナンスを強化。2026年12月に代表取締役を異動し、執行と監督の役割を明確化。

©2026 FinTech Global Incorporated

2026年9月期　通期業績　事業概要

©2026 FinTech Global Incorporated

連結業績ハイライト

（単位：百万円）

	2025/9期	2026/9期	増減額	増減率
売上高	14,432	16,495	+2,062	+14.3%
売上総利益	8,869	11,065	+2,196	+24.8%
営業利益	3,406	4,362	+955	+28.1%
経常利益	3,242	4,099	+857	+26.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,121	4,473	+2,351	+110.8%
償却前営業利益	3,913	4,834	+920	+23.5%
EPS(円)	10.91	23.30	+12.40	－
ROE	20.8%	35.6%	+14.8 pt	－

償却前営業利益:　営業利益+（売上原価・販管費に含まれる減価償却費及びのれん償却費）
ROE:　（親会社株主に帰属する当期純利益）÷期首・期末の平均自己資本
＊親会社株主に帰属する当期純利益から特別利益と特別損失の差額を単純控除して算出した場合、29.5%となる。

売上高

ムーミン物語の連結除外に伴い、第3四半期よりエンタテインメント・サービスの売上がなくなったものの、事業承継案件へのPE投資、トラックオペリースに係るアレンジなどの売上が伸び、航空機リース資産の売却も寄与して、14.3%の増収。

売上総利益

粗利率の高いPE投資やトラックオペリースに関連する売上が増加して24.8%の増益。

営業利益

販管費は人件費等の固定費の増加に加え、トラックオペリースのファンドに対する当社債権への引当により22.7%増の6,703百万円となったものの、売上総利益の増加が吸収して28.1%の増益。

親会社株主に帰属する当期純利益

ムーミン物語株式の一部譲渡に伴い、特別利益1,556百万円及び特別損失463百万円を計上したほか、税務上の売却損の発生により法人税等が圧縮される。また太陽光発電プロジェクトにかかる特別損失335百万円を計上。親会社株主に帰属する当期純利益は110.8%の増益。

©2026 FinTech Global Incorporated

通期実績と修正予想(2026年5月12日開示) との差異

(単位：百万円)

	修正予想 (2026/5/12開示)	2026/9期 実績	差額	達成率
売上高	15,500	16,495	+995	+6.4%
営業利益	4,200	4,362	+162	+3.9%
経常利益	4,000	4,099	+99	+2.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,600	4,473	△127	△2.8%

【差異要因】

売上高

事業承継案件のPE投資回収が修正予想を上回る。
トラックオペレーティングリースの出資金販売はQ4に減速したものの、想定を上回ったことで、アレンジ等の売上が増加。

営業利益

トラックオペリースにおける引当金繰入額709百万円を販管費に計上した影響を、売上総利益の増加が吸収し、修正予想値を上回る。

親会社株主に帰属する当期純利益

太陽光発電プロジェクトに係る特別損失335百万円により、修正予想値を下回る。

©2026 FinTech Global Incorporated

四半期連結業績推移

（単位：百万円）

	2025/9期					2026/9期					前Q4比増減額（増減率）	前Q4累計比増減額（増減率）
	Q１	Q２	Q３	Q４	Q４累計	Q１	Q２	Q３	Q４	Q４累計		
売上高	3,876	2,920	3,561	4,074	14,432	4,237	3,773	4,937	3,546	16,495	△ 527 （△ 13.0%）	2,062 (14.3%)
売上総利益	2,436	1,857	2,487	2,086	8,869	2,994	2,612	2,966	2,492	11,065	405 (19.4%)	2,196 (24.8%)
営業利益	1,211	548	1,102	543	3,406	1,449	1,104	1,523	285	4,362	△ 258 （△ 47.5%）	955 (28.1%)
経常利益	1,153	558	1,076	454	3,242	1,333	1,024	1,513	228	4,099	△ 226 （△ 49.8%）	857 (26.4%)
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	851	439	306	524	2,121	1,007	2,185	1,245	36	4,473	△ 488 （△ 93.1%）	2,351 (110.8%)
償却前営業利益	1,325	671	1,225	691	3,913	1,594	1,255	1,611	372	4,834	△ 318 （△ 46.1%）	920 (23.5%)

＊償却前営業利益＝営業利益+売上原価・販管費に含まれる減価償却費及びのれん償却費

©2026 FinTech Global Incorporated

セグメント別業績サマリー ― 1

- ✓ 投資銀行セグメントの通期売上高は、前期比30.6%増、セグメント利益は33.5%増。
- ✓ 航空機部門は、リース収益の増加により通期は増収増益。（当Q4は前Q4に機体売却があり、減収減益）
- ✓ パブリックサポートは、事業拡大により増収だが、再エネ施設開発等の先行投資により、損失拡大。(単位：百万円)

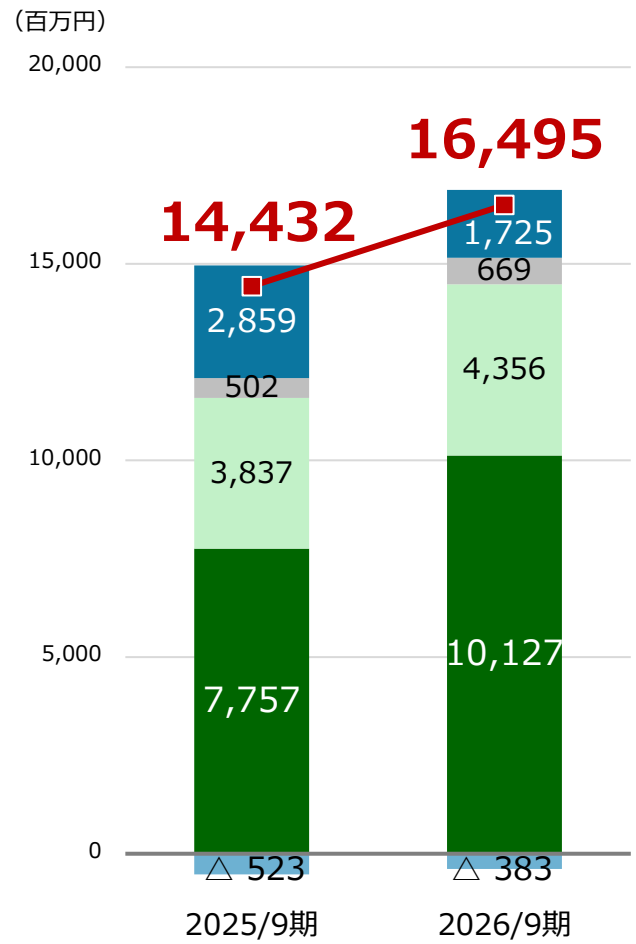
報告セグメント	科目	2025/9期					2026/9期					前Q4比	前Q4累計比
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q4累計	Q1	Q2	Q3	Q4	Q4累計		
投資銀行	売上高	2,297	1,519	2,268	1,671	7,757	2,476	2,427	2,672	2,551	✓10,127	879	✓2,370
	売上総利益	1,761	1,329	1,973	1,383	6,446	2,273	2,198	2,333	2,061	✓ 8,866	678	✓2,420
	セグメント利益	1,344	765	1,468	803	4,382	1,714	1,658	1,748	729	✓ 5,851	△73	✓1,468
投資銀行－航空機部門	売上高	696	798	674	1,668	3,837	729	655	2,164	806	✓ 4,356	△862	✓ 518
	売上総利益	315	376	292	484	1,468	340	278	557	347	✓1,523	△136	✓ 55
	セグメント利益	54	93	8	217	373	47	0	274	62	✓ 384	△155	✓ 11
パブリックサポートサービス	売上高	125	123	84	168	502	156	160	105	247	✓ 669	79	✓ 166
	売上総利益	74	71	60	131	338	99	89	81	126	✓ 397	△4	✓ 58
	セグメント利益	△8	△9	△41	6	△54	△84	△107	△110	△31	✓△334	△37	✓△280
エンタテインメント・サービス	売上高	863	604	613	777	2,859	1,055	669	–	–	1,725	△777	△1,133
	売上総利益	338	140	179	233	891	393	115	–	–	508	△233	△382
	セグメント利益	159	△61	△39	△29	29	158	△99	–	–	58	29	29
調整額（セグメント間取引消去又は全社費用）	売上高	△106	△125	△79	△212	△523	△180	△138	△5	△58	△383	153	140
	売上総利益	△52	△59	△18	△145	△276	△111	△70	△5	△43	△230	102	45
	セグメント利益	△339	△238	△293	△453	△1,325	△386	△347	△389	△474	△1,597	△21	△272
連結ＰＬ計上額	売上高	3,876	2,920	3,561	4,074	14,432	4,237	3,773	4,937	3,546	16,495	△527	2,062
	売上総利益	2,436	1,857	2,487	2,086	8,869	2,994	2,612	2,966	2,492	11,065	405	2,196
	営業利益	1,211	548	1,102	543	3,406	1,449	1,104	1,523	285	4,362	△258	955

- 2026/9期よりセグメントを変更しておりますが、2025/9期のセグメント情報は、変更後の区分方法で記載しています。
- 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高です。
- 調整額（セグメント利益）（2026年9月期は△1,597百万円）には、セグメント間取引消去（2026年9月期は262百万円）及び報告セグメントに配分していない全社費用（2026年9月期は△1,860百万円）を含む。全社費用は合理的な配分が難しいなどの理由により報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

©2026 FinTech Global Incorporated

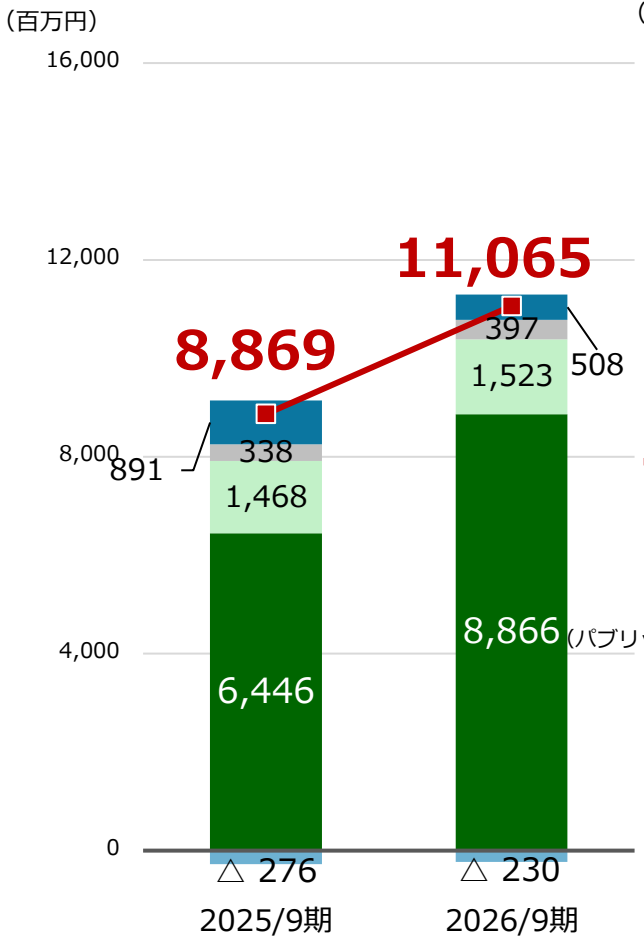
セグメント別業績サマリー ― 2

売上高



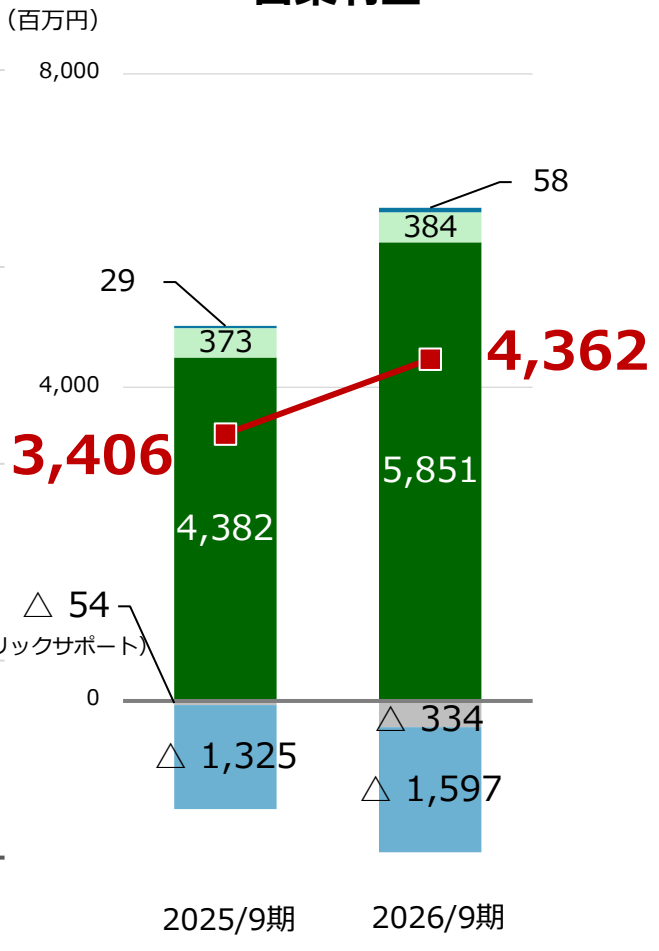
2,062百万円増（14.3%増）

売上総利益



2,196百万円増（24.8%増）

営業利益



955百万円増（28.1%増）

（注）セグメント別内訳は、他のセグメントとの取引を消去しない数値を使用。

投資銀行　投資銀行－航空機部門　パブリックサポートサービス　エンタテインメント・サービス　全社費用または取引消去

©2026 FinTech Global Incorporated

投資銀行 ー 業務別売上高、売上総利益

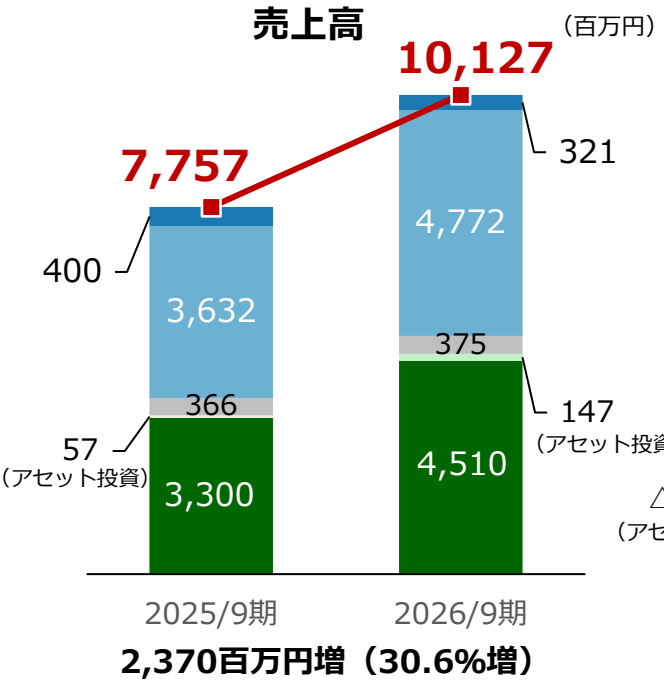
２つの大型事業承継案件の投資回収に加え、
トラックオペリースのアレンジ等の売上が前期比2倍超と好調。増収増益。

PE投資　事業承継案件において、前期組成の大型案件に加え、Q3組成の大型案件を投資回収。
中小案件の投資回収もあり、売上高は前期比31.4%増、売上総利益は前期比34.4%増となる。

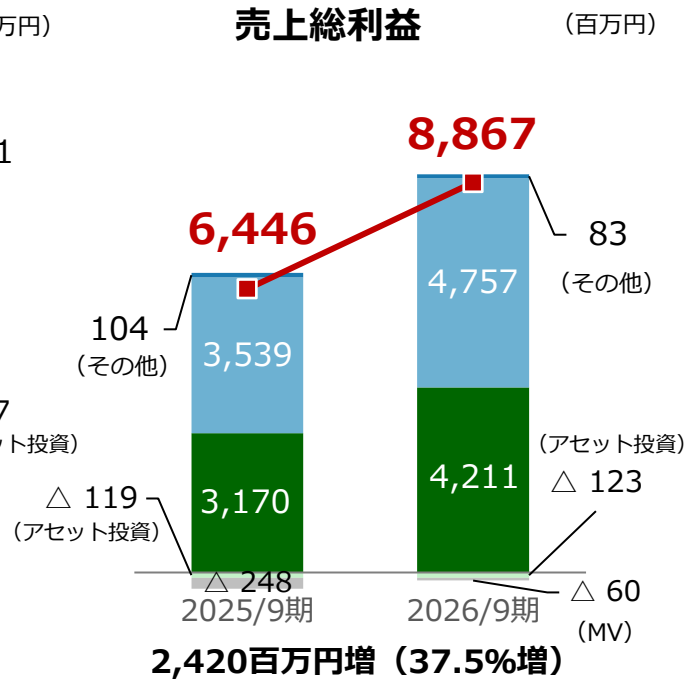
業務受託　前期組成の大型の事業承継案件による業務受託収益に加え、トラックオペリースのアレンジ等の売上高が前期の2倍超となったことにより、売上高は前期比36.6%増、売上総利益は前期比32.8%増となる。

アセット投資　不動産小口化商品の3号案件は25年10月、4号案件は26年4月に完売。
3号案件のファンド決算の取込、2019年組成の1号案件における信託不動産売却に伴う収益を計上。
4号案件のファンド決算の取込は次期予定。不動産評価損198百万円により、売上総利益は△123百万円。

MV　メッツァ来園者数は前期比4.2%増の71.2万人。駐車場収入及びテナント賃貸等を売上計上。
Q2の隣接不動産取得に伴う賃貸収益のほか、ムーミン物語への設備のリースにより売上が増加。
売上総利益は、前年同期に計上した一部施設改装に伴う除去損200百万円の影響がなくなり、改善。



2,370百万円増（30.6%増）



2,420百万円増（37.5%増）

- その他
- プライベートエクイティ(PE)投資（投資対象は、事業承継案件、スタートアップ企業等）
- メッツァビレッジ（MV）(テナント賃料、駐車場料金、イベント場所使用料等)
- アセット投資（不動産売買・賃貸）
- 業務受託（アレンジ、アセットマネジメント、不動産仲介等）

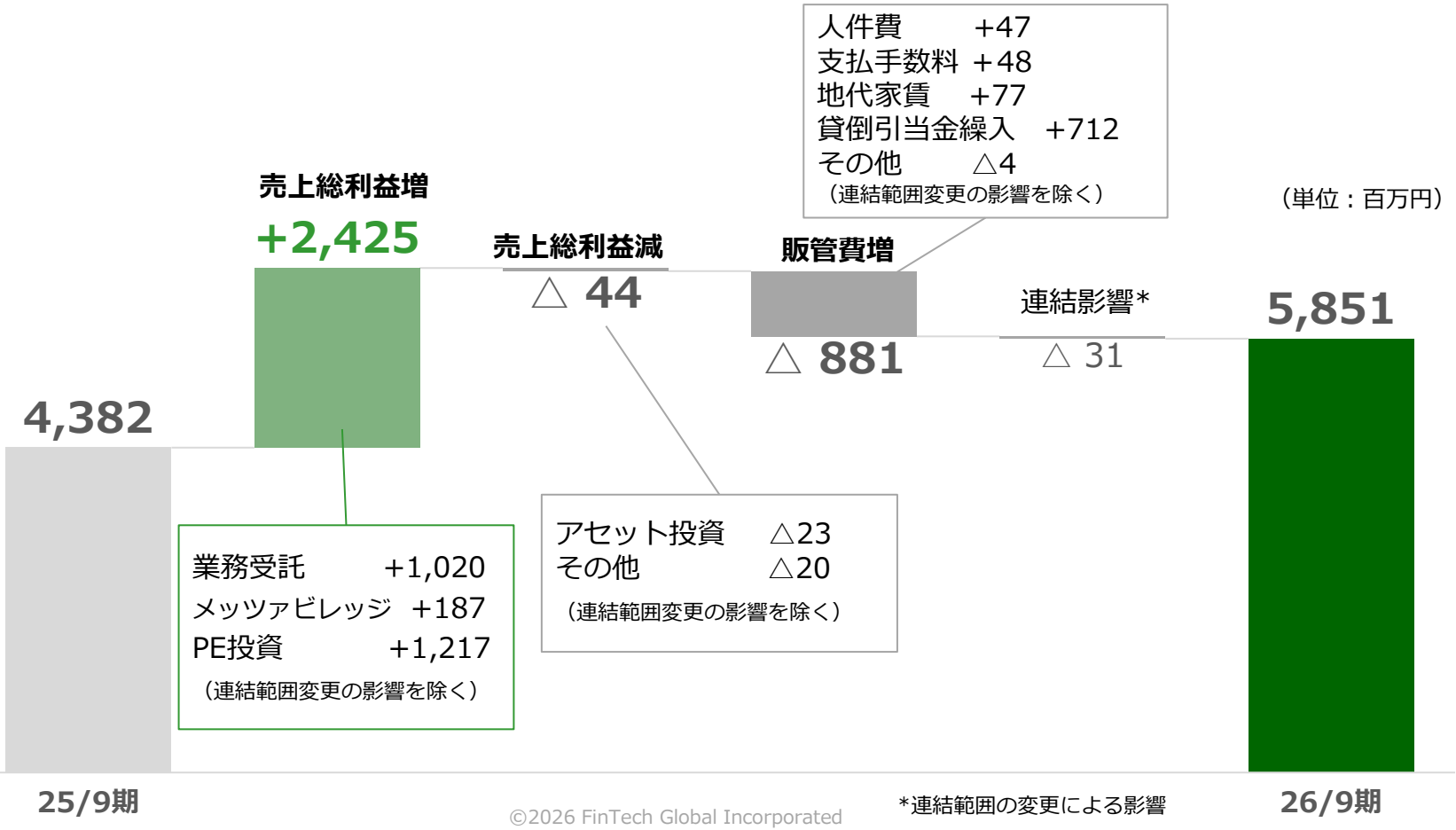
（注）1　セグメント間の内部売上高を消去しない数値を使用しています。
2　26/9期から報告セグメントを変更したため、25/9期の数値は変更後の区分方法で記載しています。

©2026 FinTech Global Incorporated

投資銀行 ー セグメント利益

販管費が前期比46.1%増加したものの、売上総利益の増加が吸収
セグメント利益は33.5%増

(販管費)
- 給与水準の引き上げ（2025年4月～）や人員増強により人件費が増加。
- オフィス増床（2025年10月）により地代家賃が増加。
- トラックオペレーティング・リースのファンドに対する当社債権に係る引当金繰入を計上。



©2026 FinTech Global Incorporated

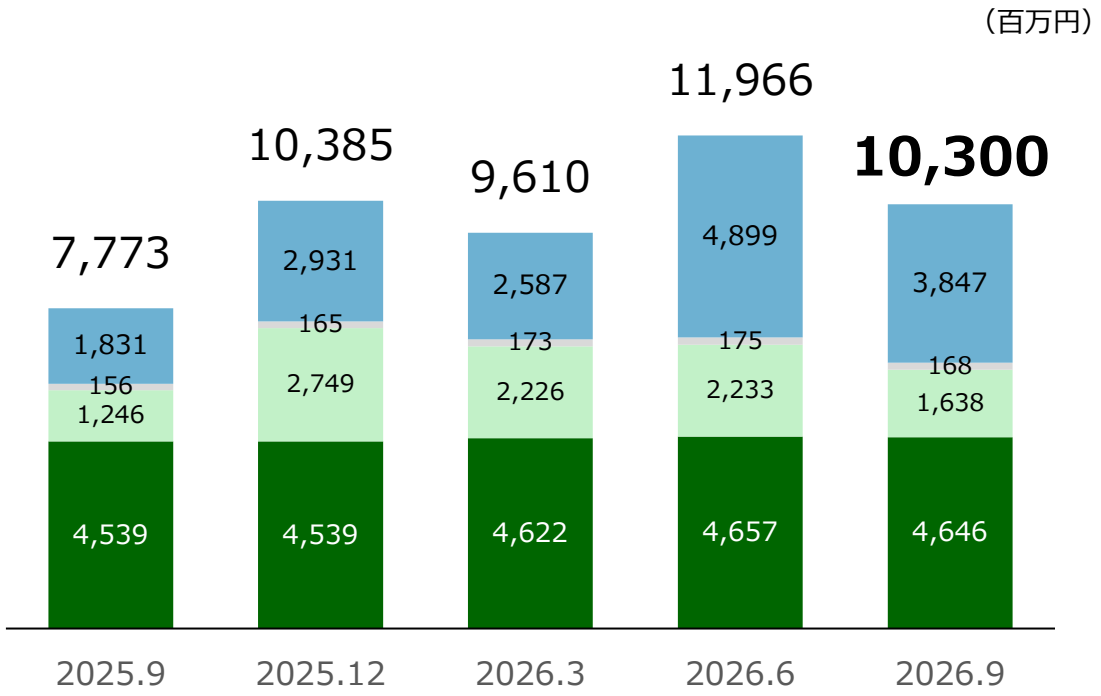
投資銀行 ー 投融資残高

投融資残高は、プリンシパルインベストメントと企業融資の減少で、第3四半期末比13.9%減

〔2026年9月期第4四半期の変動要因〕

- プリンシパルインベストメント・・ 次頁参照。
- 企業融資 ・・・・・・・・・・・・再生可能エネルギー関連の子会社への貸付金の回収が進み減少。

投融資残高（FGI単体。子会社への投融資を含む。）



プリンシパルインベストメント（事業承継案件を含む）
ベンチャーキャピタルファンドへの投資を除く営業投資有価証券、投資有価証券、関係会社株式、関係会社出資金の合計額。

ベンチャーキャピタルファンド
1ファンドへの投資

企業融資
営業貸付金、子会社への貸付金の合計額。
全額貸倒引当済みの債権は含みません。
ただし、子会社への貸付金は貸倒引当金控除前の金額を計上しています。

不動産等(メッツァ)
メッツァにおける不動産、及び設備のリース債権。
メッツァビレッジの不動産は仕掛販売用不動産・販売用不動産に計上。

©2026 FinTech Global Incorporated

投資銀行 ー 投資残高（プリンシパルインベストメントの増減内訳）

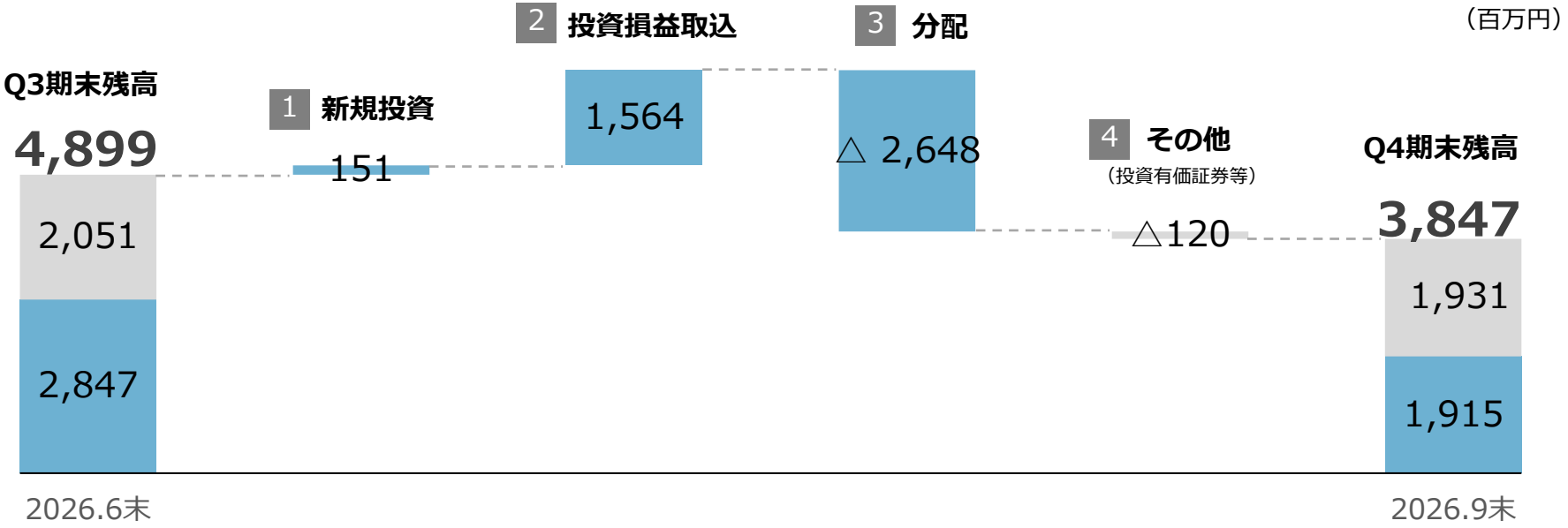
複数の事業承継案件でファンドにおける投資回収が進み、
投資残高は第3四半期末比21.5%減少

1 **新規投資**・・・新規の事業承継案件を実行。

2 **投資損益取込**・Q3に投資実行した大型案件を含む、複数の事業承継案件の収益取込により増加。

3 **分配**・・・・・当期中に投資実行した複数の事業承継案件において本分配を実施。
Q3実行の大型案件については、Q4は仮分配を実施し、来期に本分配を予定。

4 **その他**・・・保有株の株価上昇により投資有価証券が73百万円増加する一方、
子会社SPCの不動産評価損の取込により、関係会社出資金が198百万円減少。



（注）FGI単体。子会社への投資を含む。

©2026 FinTech Global Incorporated

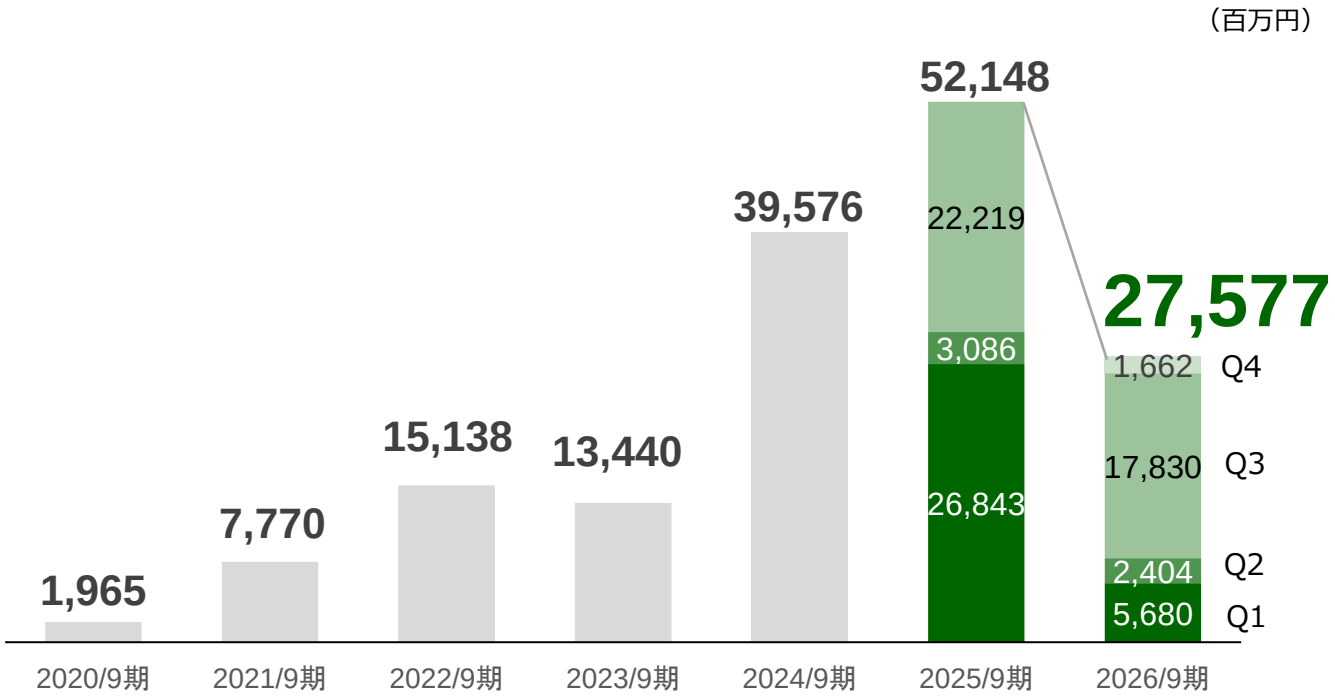
投資銀行 ー PEファンドの事業承継案件への投資額

通期のPEファンド組成額（≒ 投資額）は、275億円（前期比△47.1%）

当第4四半期は中小案件1件を新規組成。

2026年9月期全体では、中小案件を5件、大型案件を1件実行。

PEファンド組成額



©2026 FinTech Global Incorporated

投資銀行 ー 事業承継案件による収益

大型案件2件を投資回収
事業承継案件による通期売上高は、前期比25%増の65億円

当期は、前期組成の大型案件をQ1、Q2に投資回収。
また、第3四半期組成の大型案件を、Q3、Q4 に大部分を投資回収。
その他にも複数の中小案件の投資回収もあり、売上高は前期実績25%増の65億円で着地。

（億円未満切捨て）

	売上高（事業承継案件に係るPE投資と業務受託収益の合計）		
	25/9期　実績	26/9期 実績又は見込額 （26.8.12公表）	26/9期 実績
第1四半期（実績）	16	20	20
第2四半期（実績）	9	14	14
第3四半期（実績）	17	14	14
第4四半期（実績）	9	–	16
第4四半期（見込額）	–	12	–
通期（実績又は見込額）	**52**	**61**	**65**

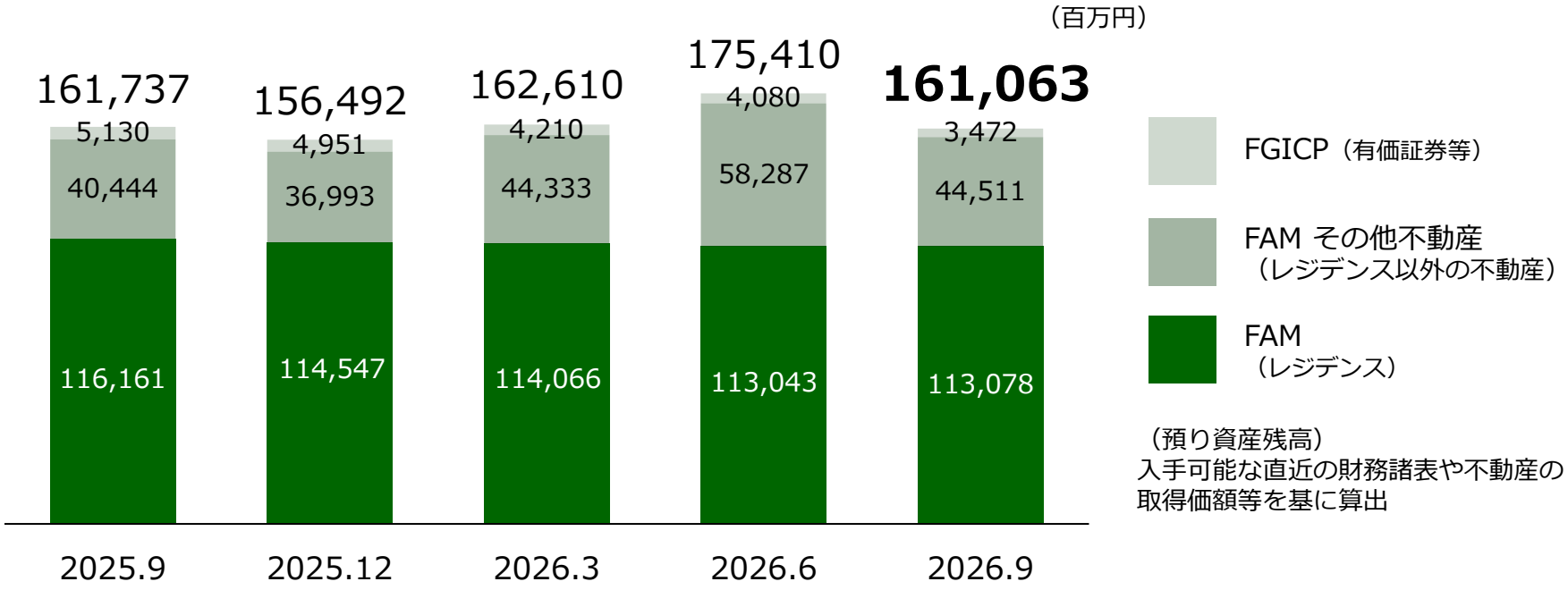
©2026 FinTech Global Incorporated

投資銀行 ー 預り資産残高

預り資産残高は、第3四半期末比8.2%減の1,610億円

- レジデンス・・・当第4四半期は、新規受託・投資回収ともになく、残高はほぼ横ばい。
- その他不動産・・当期に受託した事業承継案件で取り扱う不動産について、当該不動産の売却が完了したため減少。

（注）預り資産残高は、FAMの投資運用・投資助言とFGICPの投資運用における契約資産の合計です。



（預り資産残高）
入手可能な直近の財務諸表や不動産の取得価額等を基に算出

フィンテックアセットマネジメント㈱（FAM）
投資運用業、投資助言・代理業（関東財務局長（金商）第2014号）
総合不動産投資顧問業（総合―第74号）
不動産特定共同事業（金融庁長官・国土交通大臣第54号）

FGIキャピタル・パートナーズ㈱（FGICP）
投資運用業、投資助言・代理業
（関東財務局長（金商）第2175号）

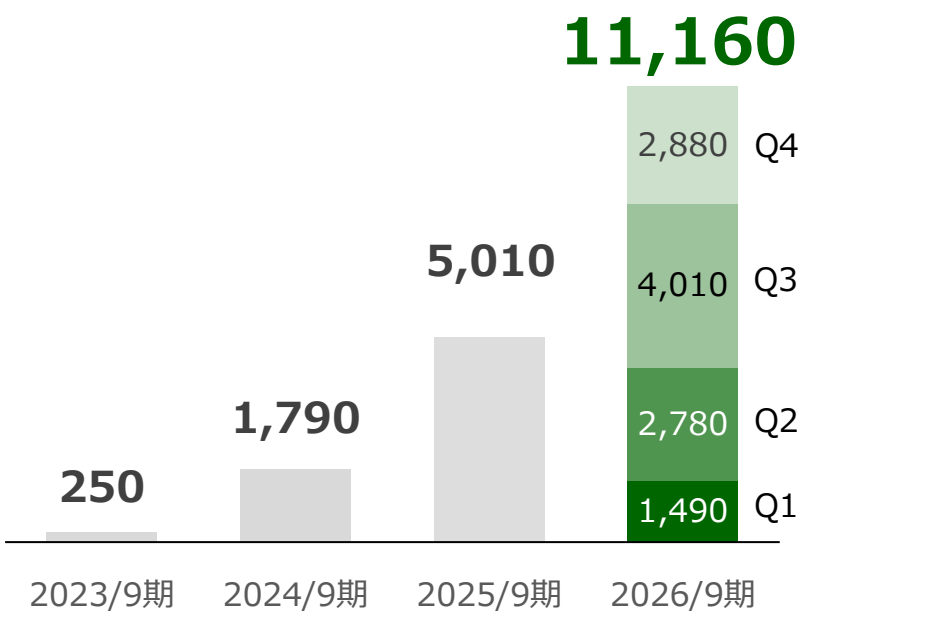
©2026 FinTech Global Incorporated

投資銀行 ー トラックオペレーティングリース

通期の出資金販売額は、前期比122.8%増の11,160百万円
一部オペレーターが関係する案件組成の見合わせにより、Q4の販売は減速

- 運送会社等の増車需要や財務改善ニーズを背景に、中古商用大型車両等のリースバック需要は拡大。
  これを受け、当社がアレンジするファンドの対象車両の確保は、順調に進捗。
- 投資商品を紹介するビジネスパートナーとの契約数が順調に増加し、投資家基盤の拡大に寄与。
- 出資金販売額は順調に伸びていたが、車両の売主兼賃借人である事業者（オペレーター）の１社であるAIストーム㈱における車両の名義登録がファンドに移転されていない事象により、同社をオペレーターとするファンドの新規組成・募集を停止。第4四半期の販売は減速。
- アレンジ等による当社グループの売上は、前年通期売上の2倍超となる。

出資金販売額の推移



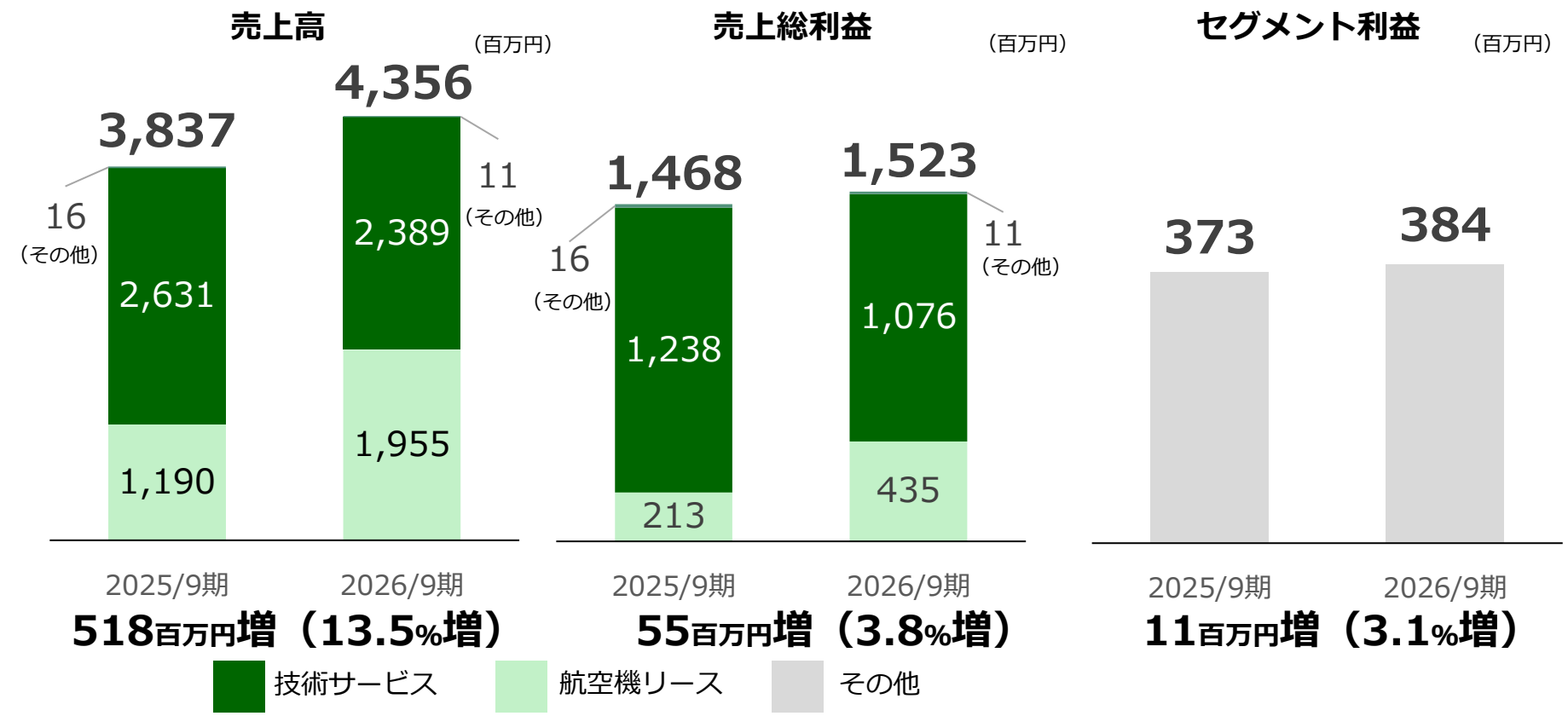
©2026 FinTech Global Incorporated

投資銀行 ー 航空機部門 セグメント

aviner㈱
SGI-Group B.V.

技術サービスは、航空機不足の影響で減収
航空機リースは、リース収益と機体売却収入増により増収となり、全体では増収増益

- **技術サービス**　航空業界で航空機不足の環境が続き、リース機体返還時の検査による売上が減少。
- **航空機リース**　リース資産の積み上げによるリース収益の伸長に加え、機体売却収入が増加。



©2026 FinTech Global Incorporated

パブリックサポートサービス

㈱パブリック・マネジメント・コンサルティング(PMC)
㈱パブリック電力
ソーラー2025春合同会社、ソーラー2026秋合同会社

事業拡大により増収。再エネ施設開発や人員増強等の先行投資の負担が重く、セグメント損失は拡大

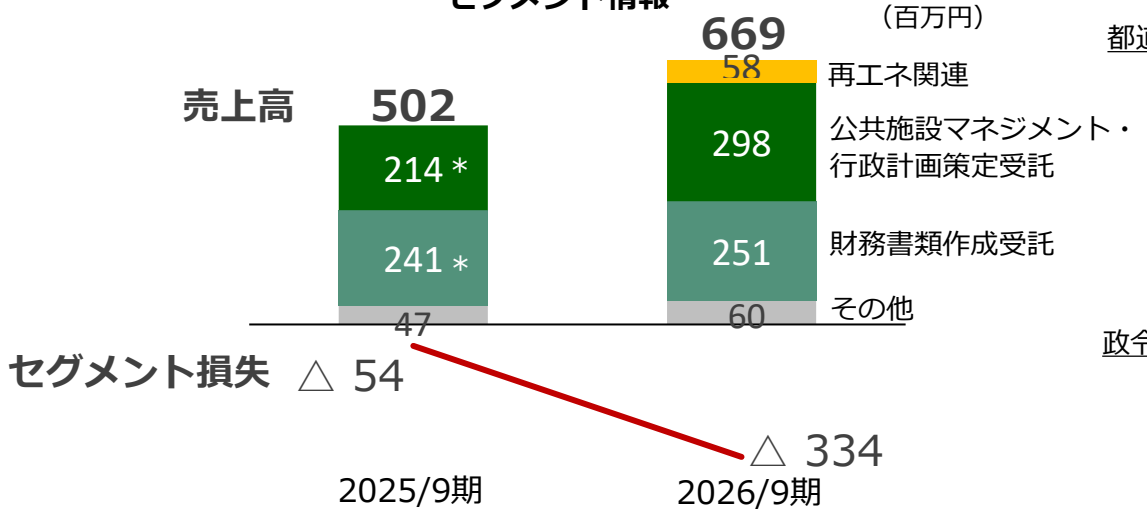
【財務書類作成、公共施設マネジメント・行政計画策定受託】

- 都道府県などの大規模自治体からの財務書類作成受託による売上高が増加。
- 公共施設マネジメントの業務受託では、人口減少、物価高騰による建設コストの上昇等、社会経済情勢の変化を反映した公共施設等総合管理計画の改訂が自治体に求められ、より専門的な視点が必要となる中、当社グループへ策定支援の引き合いが増加。また一級建築士等の専門スタッフが現地で施設管理を支援するアウトソーシング受託を開始し、福井県庁で業務支援に着手。
- 専門人材の新規採用を積極的に実施。人件費及び採用費が増加。

【再生可能エネルギー関連】

- 開発を進めてきた10地点の太陽光発電所は、2026年3月より順次運転を開始。8月までに全地点が稼働し、売電収益を計上。
- 人件費や発電所設置のための初期費用、減価償却費が増加。
- 太陽光発電プロジェクトは、 26年9月、オフバランス化に向けて第三者からの出資受入を想定したリファイナンスを実施。簿価切下げにより、特別損失335百万円を計上。（セグメント損益には含まず）

セグメント情報

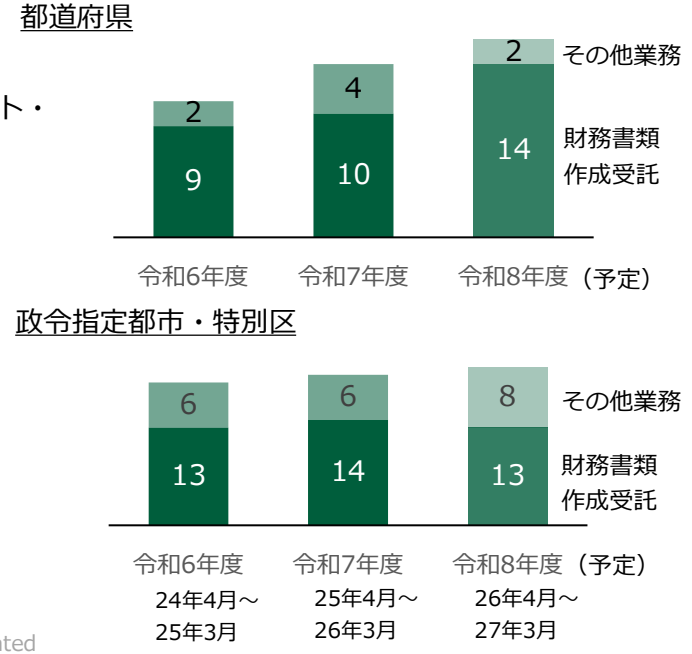


売上高 166百万円増(33.2%増)、セグメント損失 280百万円悪化

（注）売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。

＊2025/11/7公表の決算説明資料の売上内訳の表示に誤りがあり、修正しています。

大規模自治体の受託団体数



©2026 FinTech Global Incorporated

連結貸借対照表

資産の部

（単位： 千円）

	25年9月期	26年9月期	増減
流動資産	15,597,859	20,708,159	5,110,300
現金及び預金	6,632,789	8,350,825	1,718,035
1 受取手形・売掛金・契約資産	1,532,846	2,881,612	1,348,766
営業投資有価証券	830,199	2,147,062	1,316,863
営業貸付金	569,765	424,965	△ 144,800
2 販売用不動産	4,102,649	5,981,371	1,878,721
その他	2,041,829	1,968,259	△ 73,569
3 貸倒引当金	△ 112,220	△ 1,045,937	△ 933,717
固定資産	11,396,270	6,677,735	△ 4,718,534
有形固定資産	9,029,277	4,297,643	△ 4,731,634
4 建物・構築物（純額）	4,032,705	144,423	△ 3,888,281
機械装置（純額）	206,408	1,134,997	928,589
工具・器具・備品（純額）	235,913	158,644	△ 77,269
賃貸資産（純額）	3,244,507	2,512,900	△ 731,606
4 土地	747,995	131,662	△ 616,332
建設仮勘定	500,790	180,736	△ 320,053
その他（純額）	60,957	34,277	△ 26,679
無形固定資産	135,324	173,006	37,681
投資その他の資産	2,231,667	2,207,085	△ 24,582
資産合計	26,994,129	27,385,895	391,765

1 トラックオペレーティングリースのアレンジによる売掛金が増加。

2 連結SPCにおいて、販売用不動産を取得し増加。

3 トラックオペリースのファンドに対する債権への引当により増加。

4 ムーミン物語、飯能地域資源利活用合同会社の連結除外等により、ムーミンバレーパークの土地・建物や、開発等のための借入金が減少。

5 航空機リース資産の売却により、同資産の取得に係る借入金を返済し、一部を長期借入金へ借り換えたことにより増加。

6 信託会社の買収資金のための借入、並びに子会社の不動産保有SPC、太陽光発電所保有SPCの借入により増加。

7 自己株式を取得。

負債の部

	25年9月期	26年9月期	増減
流動負債	12,240,207	5,502,867	△ 6,737,340
支払手形・買掛金	330,693	322,797	△ 7,895
5 短期借入金	3,414,679	1,941,468	△ 1,473,211
1年内償還予定の社債	100,000	292,000	192,000
4 1年内返済予定の長期借入金	5,960,439	1,037,038	△ 4,923,401
未払法人税等	205,333	57,341	△ 147,991
リース債務	30,052	72,271	42,219
賞与引当金	382,987	292,911	△ 90,075
その他	1,816,022	1,487,037	△ 328,984
固定負債	2,711,747	6,589,698	3,877,950
社債	100,000	360,000	260,000
6 長期借入金	2,068,376	5,067,746	2,999,369
リース債務	28,445	301,602	273,156
繰延税金負債	17,218	87,253	70,035
退職給付に係る負債	203,126	232,315	29,189
その他	294,580	540,780	246,200
負債合計	14,951,955	12,092,566	△ 2,859,389

純資産の部

株主資本	10,737,368	13,975,658	3,238,290
資本金	5,373,336	5,373,336	―
資本剰余金	969,796	960,875	△ 8,920
利益剰余金	5,301,178	9,153,765	3,852,586
7 自己株式	△ 906,942	△ 1,512,318	△ 605,375
その他の包括利益累計額	132,349	313,321	180,971
新株予約権	98,259	103,987	5,727
非支配株主持分	1,074,196	900,362	△ 173,834
純資産合計	12,042,174	15,293,329	3,251,155
負債純資産合計	26,994,129	27,385,895	391,765

©2026 FinTech Global Incorporated

連結損益計算書

（単位： 千円）

	2025年9月期	売上比	2026年9月期	売上比	増減額	増減率
売上高	14,432,830	100.0%	16,495,428	100.0%	2,062,597	14.3%
売上原価	5,563,741	38.5%	5,429,726	32.9%	△ 134,015	△ 2.4%
売上総利益	8,869,088	61.5%	11,065,701	67.1%	2,196,613	24.8%
販売費及び一般管理費 1	5,462,792	37.8%	6,703,513	40.6%	1,240,721	22.7%
営業利益	3,406,296	23.6%	4,362,188	26.4%	955,892	28.1%
営業外収益	125,531	0.9%	121,794	0.7%	△ 3,736	△ 3.0%
営業外費用	289,541	2.0%	384,556	2.3%	95,014	32.8%
経常利益	3,242,285	22.5%	4,099,426	24.9%	857,140	26.4%
特別利益 2	11,886	0.1%	1,557,369	9.4%	1,545,482	–
特別損失 3	485,818	3.4%	799,000	4.8%	313,182	64.5%
税金等調整前当期純利益	2,768,354	19.2%	4,857,795	29.4%	2,089,440	75.5%
法人税等合計	455,036	3.2%	292,514	1.8%	△ 162,522	△ 35.7%
当期純利益	2,313,317	16.0%	4,565,281	27.7%	2,251,963	97.3%
非支配株主に帰属する当期純利益	191,330	1.3%	91,602	0.6%	△ 99,728	△ 52.1%
親会社株主に帰属する当期純利益 4	2,121,987	14.7%	4,473,679	27.1%	2,351,691	110.8%

1 給与水準の引き上げ（注）や人員増強、オフィス増床により、人件費・地代家賃等の固定費のほか、トラックオペリースのファンドに対する債権への引当として、貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより増加。
（注）2025年4月から、当社正社員の給与を平均30%程度引き上げるとともに、大学卒初任給の引き上げを実施。

2 飯能地域資源利活用合同会社が当社子会社でなくなったため、2017年に金融取引として会計処理した同社との不動産譲渡取引について売却処理を行った結果、固定資産売却益1,556百万円を計上。

3 ムーミン物語の株式譲渡に伴い、関係会社株式売却損263百万円を計上。
ムーミン物語及び飯能地域資源利活用合同会社の連結除外により、両社への債権に対して貸倒引当金繰入額200百万円を計上。
2026年9月、太陽光発電プロジェクトについて、オフバランス化に向けて第三者からの出資受入れを想定したリファイナンスを実施。
簿価を切り下げて、事業整理損失335百万円を計上。

4 航空機部門の海外子会社の減益などにより減少。

©2026 FinTech Global Incorporated

連結キャッシュ・フロー計算書

税引前当期純利益の増加により、フリーキャッシュフローは234百万円となり、プラスに転じる
必要資金は金融機関借入や社債を活用して機動的に確保

（単位： 千円）

	25年9月期	26年9月期	増減額
営業CF	**△ 664,713** 1	**1,760,580**	**2,425,294**
税引前当期純利益	2,768,354	4,857,795	2,089,440
減価償却費	481,498	439,861	△ 41,636
賃貸資産売却に伴う原価振替額	818,212	1,215,724	397,512
貸倒引当金の増減	7,497	959,306	951,809
支払利息	169,796	257,672	87,876
事業整理損失	－	335,116	335,116
有形固定資産売却損益	－	①△ 1,556,309	△ 1,556,309
売上債権の増減	△ 584,151	△ 1,185,882	△ 601,730
営業投資有価証券の増減	676,329	②△ 1,304,227	△ 1,980,557
棚卸資産の増減	△ 77,745	△ 1,852,247	△ 1,774,501
未収入金の増減	△ 335,308	361,301	696,610
賃貸資産取得支出	△ 3,660,372	△ 1,117,482	2,542,889
その他	△ 928,825	349,949	1,278,775
投資CF	**△ 1,590,653** 2	**△ 1,526,507**	**64,146**
固定資産取得支出	△ 288,156	△ 940,917	△ 652,761
投資有価証券取得支出	△ 508,427	△ 65,915	442,511
連結範囲変更を伴う子会社株式取得による収入	－	△ 45,770	△ 45,770
連結範囲変更を伴う子会社株式売却による収入	－	△ 398,841	△ 398,841
その他	△ 794,070	△ 75,062	719,007

	25年9月期	26年9月期	増減額
財務CF	**3,130,731** 3	**1,232,520**	**△1,898,210**
短期借入金の増減	2,633,493	△ 1,473,211	△ 4,106,704
長期借入れによる収入	2,004,492	4,973,507	2,969,015
長期借入金の返済	△ 613,082	△ 1,252,893	△ 639,810
社債発行による収入	200,000	600,000	400,000
社債償還による支出	－	△ 148,000	△ 148,000
配当金の支払	△ 273,603	△ 541,318	△ 267,714
非支配株主への配当金支払	△ 248,246	△ 147,967	100,278
自己株式の取得	△ 528,967	△ 685,163	△ 156,196
その他	△ 43,354	△ 92,433	△ 49,078

現金等の換算差額	△ 33,825	79,891	113,716
現金等の増減額	841,538	1,546,484	704,946
現金等の期首残高	5,674,906	6,442,667	767,761
連結除外に伴う現金等の減少額	△ 73,776	△ 36,312	37,464
現金等の期末残高	6,442,667	7,952,839	1,510,171

1 **営業CF**・・当期純利益は高水準となったが、不動産売却益の控除や営業資産の増加により、プラス幅は限定的となった。
①有形固定資産売却損益・飯能地域資源利活用合同会社との不動産譲渡取引の売却処理で計上した有形固定資産売却益により減少。
②営業資産の増加・・・・売上債権はトラックオペリのアレンジの売掛金、営業投資有価証券は事業承継案件への新規投資、
棚卸資産は連結SPCにおける販売用不動産の取得によりそれぞれ増加。

2 **投資CF**・・太陽光発電所開発やムーミンバレーパークの設備投資の他、ムーミン物語等の連結除外に伴う現預金の減少により、投資CFはマイナス。
飯能地域資源利活用合同会社への不動産譲渡は収益認識したが、売却代金は2017年に受領済のため固定資産売却収入は発生せず。

3 **財務CF**・・運転資金及び信託会社の買収資金の借入、不動産保有SPC及び太陽光発電所保有SPCの借入により
長期借入金が増加し、財務CFはプラス。

©2026 FinTech Global Incorporated

2027年9月期 業績見通し

©2026 FinTech Global Incorporated

連結業績予想

エンタメセグメント各社の連結除外で減収となるも、営業利益・経常利益は前期並みを確保する見通し

(単位：百万円)	2026/9期実績	2027/9期予想	増減額	増減率
売上高	16,495	14,600	△1,895	△ 11.5%
営業利益	4,362	4,400	+37	+0.9%
経常利益	4,099	4,100	+0	+0.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,473	2,500	△1,973	△ 44.1%
EPS(円)	23.30	13.41	△ 9.90	△ 42.5%

事業承継

2027年からのミニマムタックス強化を背景に、足元の案件が急増。以降も事業承継市場は縮小しないと見込み、高水準を維持する。

トラックオペレーティングリース

投資家、並びにオペレーター・最終ユーザーのニーズは底堅い。管理体制を強化し、取組み継続。
AIストーム㈱をオペレーターとする案件は組成しないため、収益減少を見込む。

航空機リース

リース資産のヘリコプターは緊急医療・災害対応等で需要拡大。航空機部門に経営資源の配分を強化して、新規リース案件組成によるリース料収入、及び機体売却による収益増を見込む。

エンタメセグメント各社の連結除外

同セグメント各社の売上・損益がなくなる。（2026/9期の売上1,725百万円、セグメント利益58百万円 ）
また、2026/9期に計上した連結除外に伴う特別損益（ネットで＋1,092百万円）は発生しない。

©2026 FinTech Global Incorporated

2027年9月期の重点施策

社会に貢献する事業を拡大しつつ、
急成長した事業・組織の基盤を固め、管理体制とガバナンスを強化

事業承継などの地域の課題解決

事業承継の支援をファイナンスで推進

地域物流を支える中小運送事業者を、トラックオペリースのアレンジで支援

自治体を中心に、地域の再エネ導入を支援

管理体制、リスク管理の強化

事業拡大に合わせ、管理体制を高度化

投融資リスク管理、法令遵守体制の強化

航空機部門の強化

人材及び資金の配分を強化

アセットの積み上げと、回転により、ストック・フローの収益力を強化

競争力強化のため、資金力を有する他社との連携を推進

持続的成長を支えるコーポレートガバナンス体制を強化

高い水準のコーポレートガバナンスの構築に向け、取締役会機能を強化し、持続的成長を支える基盤を整備

執行と監督の役割を明確化（代表取締役の異動）
（2026年12月の株主総会、取締役会で正式決定の予定）
・現在の代表取締役社長は、代表権がない取締役会長として就任。取締役会議長として、取締役会を通じて経営陣を監督。
・新代表取締役社長には、業績拡大に寄与してきた投資銀行本部 本部長が就任。

指名報酬委員会の設置（2027年の設置を検討）
・独立社外取締役が、経営陣の指名・報酬を通じて監督する体制へ

©2026 FinTech Global Incorporated

株主還元

©2026 FinTech Global Incorporated

株主還元

成長投資とのバランスを図りつつ、
安定配当の継続と自己株式取得で株主還元を充実

1株当たり配当金

2026/9期　**2円増配の5円**＊連結配当性向は**21.5%**

2027/9期（計画）　**5円**＊連結配当性向は**37.3%**

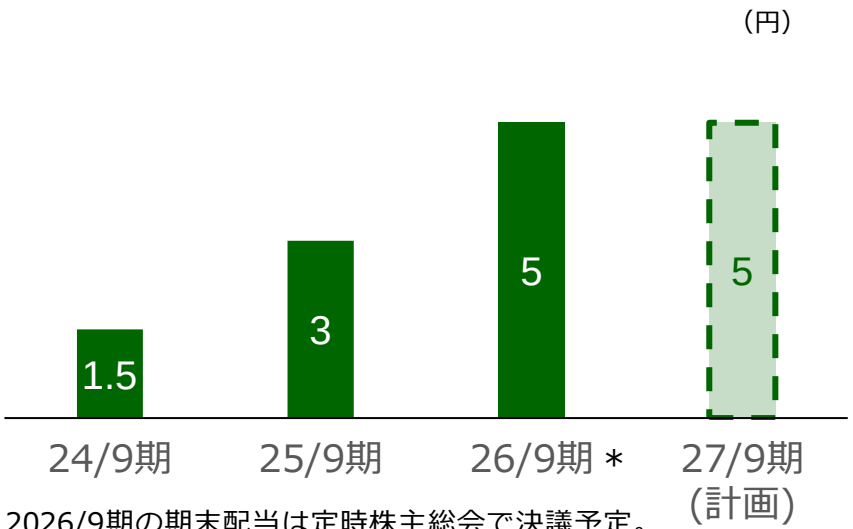
自己株式の取得

2026/9期　取得総額685百万円（25年10月48百万円、26年8月及び9月636百万円*）

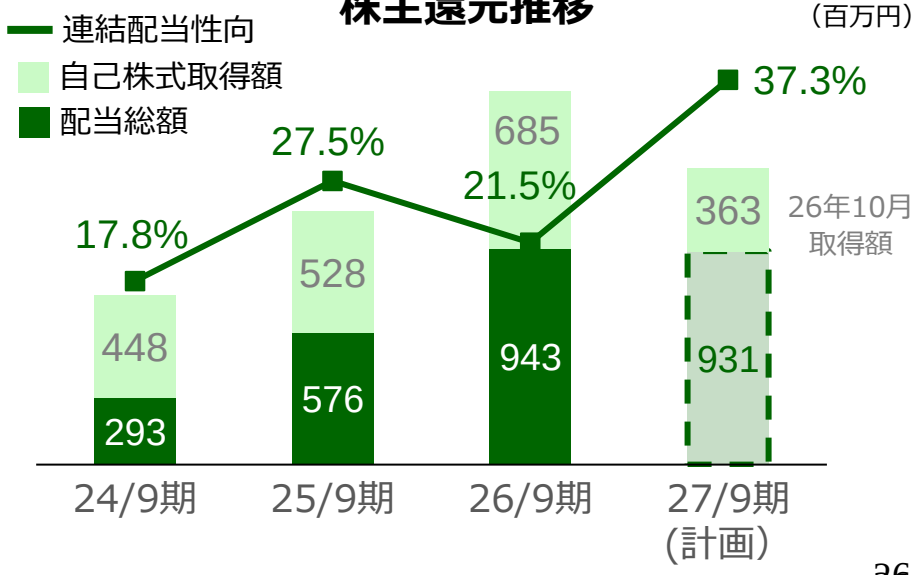
総還元性向は**36.4%**

*2026年8月12日取締役会決議による取得総額は999百万円。26年10月に363百万円を取得して終了。

1株当たり配当金推移



株主還元推移



＊2026/9期の期末配当は定時株主総会で決議予定。

© 2026 FinTech Global Incorporated

Appendix

©2026 FinTech Global Incorporated

連結経営指標等の推移

		2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
売上高	(百万円)	8,107	9,301	9,302	13,807	14,432	16,495
売上総利益	(百万円)	3,370	3,990	5,111	7,355	8,869	11,065
営業利益	(百万円)	178	587	1,343	2,569	3,406	4,362
経常利益	(百万円)	115	540	1,277	2,461	3,242	4,099
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	130	176	1,603	1,675	2,121	4,473
純資産	(百万円)	7,439	7,842	9,393	10,752	12,042	15,293
総資産	(百万円)	16,457	17,933	19,123	20,669	26,994	27,385
１株当たり純資産	(円)	31.47	32.72	41.19	48.66	56.53	75.74
１株当たり当期純利益	(円)	0.65	0.88	7.97	8.41	10.91	23.30
潜在株式調整後 １株当たり当期純利益	(円)	0.65	0.87	7.94	8.36	10.83	23.13
自己資本比率	(%)	38.5	36.7	43.4	46.1	40.3	52.2
自己資本利益率	(%)	2.1	2.7	21.6	18.8	20.8	35.6
株価収益率	(倍)	86.1	44.6	7.7	8.7	10.7	6.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	747	△ 701	615	4,055	△ 664	1,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 173	△ 141	766	△ 547	△ 1,590	△ 1,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 360	802	△ 538	△ 790	3,130	1,232
現金及び現金同等物の四半期期末残高	(百万円)	2,379	2,375	2,868	5,674	6,442	7,952
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	149(209)	176(144)	153(169)	168(200)	220(219)	158(138)
従業員数（単体） （外、平均臨時雇用者数）	(人)	28(4)	30(4)	26(6)	48(7)	65(10)	65(13)

©2026 FinTech Global Incorporated

連結従業員数の推移（四半期、セグメント別）

セグメント	2025年9月期				2026年9月期			
	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末
投資銀行	47	45	52	54	52	51	54	55
投資銀行－航空機部門	33	32	31	31	31	30	32	31
パブリックサポートサービス	17	17	17	33	38	37	41	40
エンタテインメント・サービス	55	60	71	70	70	8	0	0
全社（共通）	26	28	31	32	30	29	30	32
合計	178	182	202	220	221	155	157	158

（注）１．全社（共通）は、特定のセグメントに区分できない当社の管理部門の従業員数です。
２．2026年9月期第1四半期より報告セグメントを変更しており、2025年9月期の人員数は変更後のセグメント区分に基づいています。

©2026 FinTech Global Incorporated

フィンテック　グローバル株式会社　会社概要

本店所在地	東京都品川区上大崎3－1－1　目黒セントラルスクエア15階
設立	1994年12月7日
代表	代表取締役社長　玉井　信光
上場日	2005年6月8日
証券コード	8789 (東京証券取引所 スタンダード市場)
事業年度	10月1日から9月30日まで
グループ事業内容	①投資銀行業務　②投資業務 ③投資運用業務　④地域課題ソリューション
発行済株式総数	201,321,700株　(2026年9月30日現在)
単元株式数	100株
資本金	5,373百万円　(2026年9月30日現在)
連結純資産	15,293百万円　(2026年9月30日現在)
連結従業員数	158名　(2026年9月30日現在、臨時従業員含まず)

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、
フィンテック グローバル株式会社の登録商標であります。

©2026 FinTech Global Incorporated

FGIグループ会社・セグメント

（主な連結子会社・関連会社を抜粋）
（2026年9月末現在）

投資銀行

FGI
フィンテック グローバル㈱
投資、アレンジ
（9月決算）

議決権等の所有割合

50.1%
trinity japan
㈱トリニティジャパン
リスク・ヘッジの手配支援
（6月決算）

100%
FAM
フィンテック
アセットマネジメント㈱
不動産投資運用
（9月決算）

FGICP
FGIキャピタル・
パートナーズ㈱
有価証券等の運用
（9月決算）

FGITR
フィンテック
グローバル信託㈱＊
信託、不動産仲介
（3月決算）

＊2026/1/20に子会社化。
みなし取得日を
2026/3/31として、26/9
期Q3より、損益計算書を
連結。

Connecttech
コネクトテック㈱
不動産開発、売買、仲介等
（9月決算）

投資銀行－航空機部門

100%
ac
aviner㈱
航空、エネルギー分野の
AM/事業投資
（9月決算）

53.6%
SGI-Group B.V.
持株会社
（6月決算）

100%
SGI AVIATION
SGI-Aviation Services B.V.
航空機アセットマネジメント
（6月決算）

パブリック サポートサービス

95.0%
Public Management Consulting
㈱パブリック・マネジメント
・コンサルティング
公会計/公共施設マネジメント受託
（9月決算）

100%
パブリック電力
㈱パブリック電力
再エネ発電所の開発、発電、
売電及び施設運営
（9月決算）

34.0%
geoplan Namtech
㈱ジオプラン・ナムテック
インフラ・ユーティリティ等の
情報処理システムの計画、運営等
（3月決算）
（持分法適用関連会社）

エンタテインメント・サービス

＊2026/3/26に㈱ムーミン物語株式を一部譲渡したため、㈱ムーミン物語及び飯能地域資源利活用合同会社を、2026年9月期第2四半期末から連結除外しています。

＊メッツァビレッジのイベント企画・運営等の業務委託先を、2026/4/1より㈱メッツァから㈱ムーミン物語に変更しています。また、㈱メッツァは2026年9月期第3四半期から連結除外しています。

©2026 FinTech Global Incorporated

免責事項

本資料は、当社およびFGIグループの2026年9月期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実（以下、「将来情報」ということがあります）の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付（または当該資料・文書に別途明示された日付）時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性がありますが、その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

©2026 FinTech Global Incorporated